

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛先) 京都府知事	令和7年7月22日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）	氏名（法人にあっては、名称及び代表者名）
京都府舞鶴市字余部下1190番地	海上自衛隊舞鶴地方総監部 舞鶴地方総監 伊藤 秀人
	電話番号：0773-62-2250

環境マネジメントシステムの名称	未導入
適用範囲	—
導入年月日	—
認証番号	—
基本方針	環境マネジメントシステムの代替措置として、省エネ管理組織を活用した各種省エネ施策（エネルギーの使用実績の把握、問題点の抽出及び対策の検討、省エネルギー対策の周知等）を行う。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	令和6年度のエネルギー使用量の目標 2184.3KL 令和6年度のエネルギー使用量 2429.1KL
目標を達成するための取組の内容	節電による勤務環境の悪化を招かない範囲で室内温度を調整している。また、クールビズ、ウォームビズの奨励、エアコンのフィルター清掃の奨励、不必要な照明等の消灯等、小さなことであるが、積み重ねが環境への配慮につながることを周知するために、毎月のエネルギーの使用量を海上自衛隊グループウェアのホームページに掲載し、省エネへの関心を高めている。その他、照明器具等のLED化、ボイラーの整備を実施している。
目標を達成するための取組の進捗状況	室内温度の適正化（室内温度の管理）を実施。また、休憩時間は不要な電灯等の消灯に努めている。照明器具は、約40本を新規にLED化した。また、ボイラーの整備については、定期的に性能検査を実施し、問題のないことを確認している。
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	計画に基づき取り組みを実施したものの、夏季の高温に伴い冷房用電力が増加したほか、特に、冬季の厳寒に伴う暖房用の燃料及び電力の使用量が著しく増加したことにより、前年度よりエネルギー使用量が増加するに至った。
事業活動に係る法令の遵守の状況	法令を遵守し実施している。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	省エネ委員会を実施し、問題点の抽出及び対策の検討を行うとともに、次年度の目標を設定している。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムの内容について第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。